

学部長あいさつ

市民の皆様へ ご参加の誘い

神戸大学発達科学部は、英文でFaculty of Human Developmentと表記いたしますが、Human Development「人間の発達」という言葉は、21世紀の地球社会が抱えている問題を解決していくうえで重要なキーワードになっております。これまで人間は個人・集団・類としての発達の過程で、さまざまな能力を獲得し、それを文化として発展させてきました。そして今日、我々が直面する全人類的課題を解決していくために問われている視点もまた、「人間の発達」にあると考えられます。

このたび本学部の人間行動学科が、第14回発達科学シンポジウム「人間の発達と人間の行動を考える」を行いますのも、個々の人間の行動こそが人間の発達を方向づけるという視点に立ったものです。全国の大学の中でも稀有な人間行動学科ならではの、ユニークな情報発信を是非お楽しみください。



神戸大学発達科学部
学部長 和田 進

学科長あいさつ

発達科学部人間行動学科は、昨年4月に学科の再編で新しく発足致しました。健康発達論・行動発達論・身体行動論の3つのコースから構成され、人間の行動と発達を教育・研究する学科です。子どもから高齢者までの健康・運動・行動、そしてアクティブなライフスタイルを皆さんと共に考え、実践していきたいと思っております。本パネル・ディスカッションも、そのような思いで企画致しました。基調講演にはお忙しい中、中川志郎先生をお迎えすることができ、我々にとっても大変有意義なお話を拝聴できるものと楽しみにしております。後半の人間行動学科若手教員によるシンポジウムにもご参加いただき、忌憚のないご意見・ご提言いただければ幸いです。



神戸大学発達科学部
人間行動学科長 平川 和文



三宮駅から東へ徒歩5分



市民公開シンポジウム
主催 神戸大学発達科学部

人間の発達と 人間の行動を考える

第14回 発達科学シンポジウム

子どもから高齢者まで、
全ての世代に向けた



健康づくり
身体づくり
生きがいづくり
〇〇づくり
の行動指針

日 時：2006年2月18日(土)
13:00~16:30 (12:30開場)
会 場：神戸市勤労会館7階 大ホール
神戸市中央区雲井通5-1-2
問 合 せ：078-803-7819・7905
e-mail：ktakami@kobe-u.ac.jp

2006年2月18日(土)
13:00~16:30

入場無料

共催：(財)神戸市体育協会

神戸市勤労会館 大ホール

このたび、幅広い市民の皆様に向けたシンポジウム「人間の発達と人間の行動を考えるー人間行動学科発 健康づくり・身体づくり・生きがいづくり・〇〇づくりー」を企画いたしました。

主催の発達科学部人間行動学科は、人間の複雑かつ多様な行動と人間の発達に関わる教育・研究を通して、人間と社会・自然が抱えている多様な課題に取り組み、豊かな生活と健全な社会の構築を目指す学科です。

今回のシンポジウムでは、基調講演者として、初来日のパンダをはじめ数多くの貴重な動物の飼育を歴任されてきた中川志郎先生に「動物の一生からみた人間の発達を考える」という興味深いお話を聞かせていただきます。動物の一生の中から、現代人が見失っている人間としての原理原則が見えてくるのではないのでしょうか。

そのあとのパネル・ディスカッションでは、人間行動学科の若手スタッフ5名が人間の発達と行動について、健康発達、身体行動、行動発達分野から提案いたします。人間の生涯にわたる発達を良好に導くために、何を行動の指針とすればいいのだろうか？フロアーの皆様と議論する中から、日常生活をより豊にするヒントを得ていただければ幸いです。

神戸大学発達科学部
人間行動学科 教員一同

神戸市民・近隣在住の皆様
お気軽に御参加ください。

Program

基調講演

13:00~

中川 志郎氏 元上野動物園長・日本動物愛護協会理事長

「動物の一生からみた人間の発達を考える」

パネル・ディスカッション

14:30~

「人間行動学科発 健康づくり・身体づくり・生きがいづくり・〇〇づくり」

話題提供

(神戸大学発達科学部人間行動学科教員)

- 中村晴信 (公衆衛生学)
: 「健康の考え方」
- 高田義弘 (体力科学)
: 「ライフステージに応じた身体づくり」
- 高見和至 (運動心理学)
: 「快食・快眠・快便が教えてくれる生き方」
- 長ヶ原誠 (スポーツ老年学)
: 「生きがい・楽しさ・夢の生涯発達
アクティブエイジングに着目して」
- 稲場圭信 (宗教社会学)
: 「思いやりの行動と社会的責任
個人・対人関係・社会の視点から考える」

フロア討論

閉会

16:30

プロフィール

中川 志郎



なかがわ しろう

1952年：宇都宮農専獣医科卒、
同年東京都立上野動物園勤務。

1969年：ロンドン動物学協会研修
留学ののち飼育課長として初来日の
パンダ（上野動物園）、コアラ（多
摩動物公園）の飼育プロジェクトを担当。その後、都立多
摩動物公園長、上野動物園長を歴任。1992年（財）東京
動物園協会理事長を経て、1994年茨城県自然博物館長、
2005年6月1日同館名誉館長。現在
（財）日本動物愛護協会理事長。

「兼任」

環境省・環境中央審議会委員
独立行政法人国立科学博物館評議員
（財）世界自然保護基金日本委員会理事
（財）日本博物館協会会長
東京農業大学客員教授

「著書」

動物の食からみる現在の食生活へのヒント（芽ばえ社）
動物から教わったこと（アスペクト社）
動物考（未来社）
動物と私の交響曲（東京新聞出版局）
スージーの贈りもの（海竜社）
動物園学ことはじめ（玉川大学出版部）
動物たちの昭和史（太陽企画出版社） 他多数

*会場「神戸市勤労会館」へは裏面の地図を御参照ください。